

## 議案第1号 令和6年度事業報告及び収支決算について

### 令和6年度 事業報告

#### I. 会議の開催状況

##### 1. 理事会

(1) 令和6年4月1日 第50回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①令和5年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ②令和6年度事業計画及び事業会計予算について  
(令和6年度事業会計予算における正味財産増減計算書を含む。)
- ③報告 役員の選任について
- ④報告 評議員の選任について
- ⑤報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について  
(「ご報告事項」を含む。)

(2) 令和6年5月23日 第51回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和5年度事業報告及び収支決算について
- ②評議員会の開催について
- ③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和6年6月11日 第52回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①理事長及び常務理事の選定について

(4) 令和6年7月29日 第53回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①評議員への役員(監事)の選任についての決議の省略の提案
- ②評議員への役員(監事)1名の選任候補者の提案

(5) 令和7年2月5日 第54回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①評議員会の開催日時及び場所について

(6) 令和7年3月26日 第55回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和6年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ②令和7年度事業計画及び事業会計予算について
- ③報告 役員の選任について
- ④報告 評議員の選任について

- ⑤報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- ⑥報告 常勤理事の報酬額について
- ⑦報告 令和7年度からの徳島県観光協会業務執行体制について

## 2. 評議員会

(1) 令和6年6月11日 第35回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和5年度事業報告及び収支決算について
- ②役員の選任について
- ③評議員の選任について
- ④常勤理事の報酬額について
- ⑤報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(2) 令和6年8月16日 第36回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①役員(監事)1名の選任について

(3) 令和7年3月26日 第37回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員の選任について
- ②評議員の選任について
- ③常勤理事の報酬額について
- ④報告 令和6年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ⑤報告 令和7年度事業計画及び事業会計予算について
- ⑥報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- ⑦報告 令和7年度からの徳島県観光協会業務執行体制について

## 3. 監査

令和7年5月20日及び5月22日 令和6年度決算について監事から監査を受けた。

監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は適正であると認められた。

## 4. 賛助会員合同会議

令和6年8月26日 賛助会員との連携を深めるため、合同会議を徳島県立産業観光交流センターにおいて開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者の表彰を行った。

## 5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書をホームページで公開している。

## Ⅱ. 業務の概要

### 1. 観光振興事業

観光振興事業では、観光情報サイト「阿波ナビ」やSNSを活用し、タイムリーな情報発信に努めたほか、市町村やDMO等観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。

また、県からの受託事業として、県内の観光産業を担う人材の育成のため、「とくしま観光アカデミー」の運営を行う「とくしま観光人づくり事業」や、本県へのロケ誘致支援を行う「とくしまロケーション・ブランド発信事業」等を実施した。

### 2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、「国際MICEエキスポ」や「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」に参加するとともに、コンベンション主催者に対して、施設利用プランや関係事業者の紹介などの情報発信と誘致活動に努めたほか、主催者に対する開催費の助成等を行った。また、四国として観光庁事業の採択を受けミーティング・インセンティブツアー誘致に向けた各種プランの磨き上げを行い造成に努めた。

海外からのMICE誘致等促進事業としては、国内で開催の商談会「VISIT JAPANトラベル& MICE マート」や現地で開催された旅行博等への参加、現地での営業を実施し、教育旅行や遍路、ゴルフ、サイクリングなどのツアー造成に努めた。また全国からMICE関連事業者が参集する「国際観光コンベンションフォーラム2025」を本県にて開催し、MICE振興に努めた。

### 3. 施設等管理運営事業

徳島県立産業観光交流センター及び徳島県立男女共同参画総合支援センターの指定管理運営事業については、コロナ禍によりイベント開催から遠のいているリピーター主催者や、新たな利用が期待できる主催者に積極的な営業活動を行った。また、経済波及効果の大きい催事を計画している主催者に向けた開催支援の事業を充実させるなど、利用促進に努めた。さらに、安全・安心を第一義に、アスティ阿波奏舞祭、避難訓練イベント、eスポーツイベントなどの自主事業等を開催し、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大を図った。

民間企業と共同で指定管理運営事業を行う徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館については、観光商談会への参加や旅行会社への営業活動を行い送客を依頼したほか、増加するインバウンド客に対応するため、外国語対応ができるスタッフの雇用や、翻訳機を活用した多言語対応の強化に努めた。

今後も、現在開催中の「2025大阪・関西万博」をはじめ、「2027ワールドマスタースゲームズ関西」や「大鳴門橋自転車道」の開通なども見据え、インバウンド客や様々なニーズに対応できるよう、受入体制の強化等に努める。

## 令和6年度 事業報告（附属明細書）

### 観光振興事業

#### 1. 自主事業

##### （1）観光宣伝・情報発信事業

###### ① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、観光ガイドマップをはじめとする各種パンフレットの配布や観光案内対応、観光キャンペーンへの参加のほか、商談会等に参加し旅行会社等への情報提供を実施した。

また徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」においては、イベント情報の発信を強化して幅広い情報収集を実施したほか、公式SNS（Instagram、Facebook、X）を積極的に活用して、タイムリーな情報発信に取り組んだ。

観光情報サイト「阿波ナビ」令和6年度PV数 4,579,304pv

阿波ナビInstagram フォロワー数 1.7万人

阿波ナビFacebook フォロワー数 5,500人

阿波ナビX フォロワー数 4,300人

###### ② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、徳島県及び県内市町村のパンフレットを設置し、情報発信力強化を図り、観光客の誘致促進に努めた。令和6年度においては、パンフレットの補充・更新をGW前など7回実施した。また令和5年度途中から止まっていた動画放映は動画の内容を調整し、再開した。

###### ③ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致につなげるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進した。

###### ④ 感動とくしま再発見！フォトコンテスト事業

徳島県の物産品や観光資源の魅力を再認識し、県内外に発信するため、徳島県産業国際化支援機構と当協会の共催により「感動とくしま再発見！フォトコンテスト」を実施した。

応募数234作品(物産部門60作品、観光部門174作品)の中から、最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、奨励賞(10点)及び審査員特別賞(2点)を選考し、これらを活用して「とくしま観光カレンダー」を作成した。

〔観光部門〕

|        |              |         |
|--------|--------------|---------|
| 最優秀賞   | 「棚田稲刈りでの一休み」 | 鴻野 英三 氏 |
| 優秀賞    | 「吹雪く落合集落」    | 上杉 孝徹 氏 |
| 奨励賞    | 「鏡の世界」       | 大宮奈央子 氏 |
| 奨励賞    | 「勇姿現る」       | 林 昌弘 氏  |
| 奨励賞    | 「朝焼けに浮かぶ」    | 小泉 秀城 氏 |
| 奨励賞    | 「霧かかる日の出」    | 清水 洋一 氏 |
| 奨励賞    | 「どれが本物？」     | 正木 佑弥 氏 |
| 審査員特別賞 | 「棚田稲刈りでの一休み」 | 鴻野 英三 氏 |

〔物産部門〕

|        |                  |         |
|--------|------------------|---------|
| 優秀賞    | 「蓮根を洗う」          | 岡 三希生 氏 |
| 優秀賞    | 「春の風物詩（シラスウナギ漁）」 | 播磨 一成 氏 |
| 奨励賞    | 「天空の稲刈り」         | 大西 正己 氏 |
| 奨励賞    | 「冬支度」            | おどみ岐諷 氏 |
| 奨励賞    | 「半田そうめん」         | 田中 耕二 氏 |
| 奨励賞    | 「祖谷そば里山に咲く」      | 浦 嘉孝 氏  |
| 奨励賞    | 「牡蠣が育つウチノ海」      | 田 賀代 氏  |
| 審査員特別賞 | 「蓮根を洗う」          | 岡 三希生 氏 |

（２）観光客誘致促進事業

① 四国域内流動促進事業

四国４県の観光協会が連携し、四国内での域内交流の活性化に努めた。

② 観光イベント等参加事業

東京・大阪・名古屋の三大都市圏をはじめとした誘客の見込まれる地域において、関係機関や観光事業者と連携して観光イベント等に参加し、本県の観光情報を発信し、観光誘客に努めた。

ア 観光・物産PRブースの設置

- ・第２２回日本臨床腫瘍学会学術集会  
（開催日）令和７年３月６日（木）～８日（土）  
（場 所）神戸国際展示場（兵庫県）

イ 旅行会社への営業

旅行会社主催の商談会等に参加し、徳島県の観光地や旅行商品、助成制度の説明を行った。

- ・「オール徳島」観光商談会  
（実施日）令和６年５月１５日（水）  
（対象者）旅行会社の首都圏の支店の企画・造成担当者等
- ・阪急交通社中国四国地区商談会  
（実施日）令和６年５月２９日（水）、１２月４日（水）  
（対象者）阪急交通社の全国の支店の企画・造成担当者等

### ③ メディア活用情報発信事業

ソーシャルメディア（SNS）やWEB配信等をはじめとするメディアを活用し、ターゲットを絞った効果的な県内観光情報の発信を行い、誘客促進に努めた。

また、メディアの取材支援や情報提供を積極的に行い、記事掲載等による旅行喚起を図った。

- ・YouTube「山口智子の風穴！？」で配信（令和7年1月4日(土)～）
- ・フジテレビTWO「超特急の撮れ高足りてますか？」で放送（令和7年1月13日(月)）
- ・TV朝鮮「食客ホ・ヨンマンの定食紀行」で放送（令和7年2月16日(日)・23日(日)）
- ・J-WAVE 81.3FM「生田絵梨花のDRIVING WITH YOU」で放送（令和7年3月30日）

### ④ 周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

（ツアー数） 119件  
（バス台数） 240台  
（集客人数） 7,638名

## （3）観光客受入対策事業

### ① 外国人受入態勢整備事業

徳島国際直行便でのバス乗降案内や優待券、とくしまマラソン・徳島おどりフェスタ等のイベントでの外国人用(繁体字)各種案内の翻訳を行い、受入態勢の拡充に努めた。

### ② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド・観光ボランティアガイド団体等に向けて、当協会が実施するセミナー情報を提供した。また、県内飲食団体主催のナイトタイムエコノミーについてのセミナーへの企画支援を行った。

## 2. 県からの受託事業

### （1）とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

（問合せ件数） 72件  
（支援件数） 42件

## (2) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信を行った。

### ① 県内外臨時観光PRブースの運営

- ・ 阿波おどり臨時観光案内所  
(開催日) 令和6年8月13日(火)、14日(水)  
(場 所) 徳島市広域観光案内ステーション前
- ・ 第30回日本心臓リハビリテーション学会学術集会  
(開催日) 令和6年7月13日(土)、14日(日)  
(場 所) 神戸国際展示場(兵庫県)
- ・ 令和6年度第55回四国地区スポーツ推進委員研修会  
(開催日) 令和7年1月18日(土)  
(場 所) あわぎんホール

### ② デジタルサイネージ等を活用した情報発信に関する実証実験

徳島市阿波おどり期間などに来県した方々に対し、徳島県の魅力を映像で発信するため、徳島阿波おどり空港及び藍場浜公園にデジタルサイネージを設置した。

#### 【藍場浜公園】

設置期間：令和6年8月12日(月)～15日(木)まで  
サ イ ズ：四面柱4面LDビジョン横100cm×高さ200cm

#### 【徳島阿波おどり空港】

設置期間：令和6年8月12日(月)～31日(土)まで  
サ イ ズ：四面柱4面LDビジョン横100cm×高さ200cm

## (3) とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、「学びの場」として、観光関連事業者や高等教育機関等との連携による「とくしま観光アカデミー」の運営を実施した。

(開講期間) 令和6年11月12日(火)～令和7年1月25日(土)

(実施内容) オンライン講座3講座、ハイブリッド講座7講座、演習講座1講座、実地講座1講座に加え、特別講座を1回実施した。

### ① 共通講座(2講座) 内容：観光学基礎

### ② 専門講座(4講座×2コース)

#### ア ビジネスコース

目 的：観光人材の即戦力強化

対象者：観光事業従事者等

内 容：観光経営学、観光マーケティング論 ほか

#### イ チャレンジコース

目 的：次代の観光産業の担い手育成

対象者：高校生、大学生、社会人

内 容：地域観光学、観光キャリアデザイン論 ほか

③ 演習講座（１講座×２コース）

ア ビジネスコース・チャレンジコース

受講生の相互交流を図るため、合同受講とし、課題演習を実施した。

日 時：令和７年１月１１日（土）１３：００～１６：００

場 所：四国大学交流プラザ

参加者：１９名

④ 実地講座

ア ガイドテクニック

ガイド実地演習及び参加者によるフィールドワークを実施した。

日 時：令和７年１月２５日（土）１３：００～１６：００

場 所：阿波おどり会館及び周辺市街

参加者：２０名

⑤ 特別講座

ア アドベンチャーツーリズムセミナー in みなみ阿波

日 時：令和６年１１月２５日（月）１３：３０～１５：３０

場 所：南部総合県民局美波庁舎

参加者：３６名

（参加申込数）８５名、各コースにおける全講座修了者は１４名  
申込者限定でアーカイブ配信も実施

（４）着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等を作成し、旅行会社等への売り込みを行うとともに、コンベンションの誘客促進や開催決定後のサポートを行った。

（５）徳島－福岡線利用による旅行商品造成促進事業

旅行商品造成に向けて誘客活動を行った。

（６）タイにおけるエージェント営業業務

徳島県への航空路線誘致及び観光誘客を推進するため、タイにおいて効果的に営業活動を行うエージェントを確保し、タイにおいて実施する現地航空会社及び旅行会社等へのセールス活動に対する支援を実施するとともに、継続的かつタイムリーな営業活動を展開することにより、本県への航空路線就航及び旅行商品造成を促進した。

現地エージェント：Nitthai Provider Co.,Ltd.

（活動内容）

・タイでのコーディネイト活動

「JAPAN EXPO THAILAND 2024」（令和６年８月）徳島県ブース

「ビジット・ジャパン・ＦＩＴフェア」（令和６年１１月）四国ブース

「徳島県観光セミナー」（令和７年２月） ほか



- ・観光情報の提供及びセールス活動  
 日系・タイローカル旅行会社への個別セールスを実施（９０社）  
 「関西観光本部商談会」（令和６年９月）で商談  
 ニュースレター ４回発行

#### （７）香港取材関係者受入対応業務

香港からのインバウンド誘客に資する取材を受け入れる際、より多くの観光情報を発信出来るように取材のサポートを行い、インバウンド誘致拡大に努めた。

### 3. 収益事業

#### （１）自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダー等の販売により収益拡大に努めた。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化に努めた。

- ① 徳島県観光ガイドマップの作成  
 2024年度版の徳島県観光ガイドマップを8万部増刷し、2025年度版の徳島県観光ガイドマップを8万部作成した。
- ② とくしま観光カレンダーの販売  
 （売上額）933,500円

## コンベンション振興事業

### 1. コンベンション振興事業

#### （１）誘致対策事業

- ① コンベンショントレードショーへの参加  
 ア 第34回国際MICEエキスポへの参加  
 各種コンベンションの主催者に対しては、コンベンション施設・宿泊施設情報や、助成制度等各種支援内容、ハイブリッド開催でのWEB環境などを提案し、本県へのコンベンション誘致に努めた。  
 （開催日）令和7年2月13日（木）  
 （場所）東京国際フォーラム  
 （来場者数）519名
- イ 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加  
 中国四国地区9県15都市のコンベンション推進団体で構成される「中国四国地区コンベンション誘致推進協議会」主催で開催された。  
 多くのコンベンション主催者が来場され、本県のコンベンション施設や助成制度等の説明を行い、誘致に努めた。

(開催日) 令和6年12月4日(水) 13:00~17:30  
(場所) ベルサール三田ガーデン  
(来場者数) 60名

ウ Japan MICE EXPO 2024 への参加

「Japan MICE EXPO 2024」に参加し、MICE主催団体に対して、コンベンション施設・ホテル情報や各種支援案内、本県ならではの体験プログラムを提案し誘客に努めた。

(開催日) 令和6年10月17日(木)、18日(金)  
(場所) インテックス大阪  
(来場者数) 2,810名

② 企画提案・視察支援事業

コンベンション主催者に対して、本県での開催におけるコンベンション施設利用プランや関連事業者を紹介した。

また、本県をコンベンション開催候補地として検討中の主催者に対し、視察支援を実施するとともに、会場や宿泊施設の空き状況等の確認や各種調整を行った。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供するとともに、県内の各種関係団体と連携した誘致活動に努めた。

④ コンベンションセミナーの開催

本県での「国際観光コンベンションフォーラム」の実施を契機として、賛助会員をはじめとした関係者に周知し、本県での更なるMICE振興に努めた。

⑤ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会や、その他地域のコンベンション団体と連携し、効果的な誘致促進に努め、各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携し、積極的な情報収集に努めた。

⑥ MICE専門の機関紙「Tokushima MICE Newsletter」の作成

MICEの開催状況や事業、主催者が実施する市民公開講座等を掲載した機関紙を年3回作成し、賛助会員及び県内の大学等教育機関、とくしまコンベンション誘致推進協議会メンバー等に配布する。また、ホームページ上にも掲載することで、当協会の活動周知及び情報提供を行った。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成した。

(交付件数) 55件

(交付金額) 27,946,160円

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や各種観光パンフレット等を提供した。また、WEB併催又はWEB開催となったコンベンションにおいては、主催者ホームページで本県の観光情報の紹介を行うなど、魅力的な体験観光の紹介をした。

(優待券の配布) 38件 9,425部

③ MICEおもてなし事業

全国規模の大規模コンベンションに対しては、徳島駅及び徳島阿波おどり空港での歓迎看板を設置した。また、会場での物産展の開催について、関係団体と連携し、ブースを設置した。WEB開催となったコンベンションに対してはWEB上で公開する動画や写真の提供を行った。

(歓迎看板の設置) 10件

(物産ブースの設置) 9件

④ MICEワンストップ事業

コンgresバッグの販売、記念品・特別講演の企画提案、弁当事業者の紹介等を行った。大規模コンベンション開催時には、県内交通事業者への協力依頼を行うとともに、シャトルバス運行の支援を行った。また、四国として採択された観光庁事業を活用し、ミーティング・インセンティブ誘致に向けたプログラムの磨き上げを実施した。

ア コンgresバッグの販売 8件 2,940枚

イ 「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業」で磨き上げたコンテンツ

- ・上勝町でゼロ・ウェストセミナーと農園視察
- ・徳島市での街歩きとフード&バーホッピング
- ・日本三大祭りの一つ、阿波おどり体験を通じたチームビルディング
- ・鳴門酒蔵街道・本家松浦酒造での酒蔵貸切パーティー

⑤ 関係団体との連携

国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO(日本政府観光局)、JCCB(日本コンgres・コンベンションビューロー)等のノウハウや情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画などの情報収集や意向調査を行った。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① スペシャル インタレスト とくしま(SIT) 発信事業

公共交通機関を活用した、徳島ならではの、テーマ性の高い特別な目的に絞った旅行プランを、DMO等観光振興団体や県内観光事業者等と連携し、誘客に努めた。

② 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図った。

ア VISIT JAPAN トラベル & MICE マート2024

(主 催) 日本政府観光局(JNTO)

(参 加 者) 海外バイヤー265名、国内セラー285社・団体

(開 催 日) 令和6年9月26日(木)～28日(土)

(場 所) 東京ビッグサイト 東7ホール(東展示棟)

(商談件数) 28社

③ MICEとくしま発信事業

全国からコンベンションビューロー、MICE関連の研究者及び事業者等が参加する「国際観光コンベンションフォーラム」を本県にて開催し、本県のMICE振興を更にブラッシュアップするとともに、地域のステークホルダーとの連携強化に努めた。

「国際観光コンベンションフォーラム2025 in 徳島」

(開 催 日) 令和7年2月20日(木)、21日(金)

(場 所) 四国大学交流プラザ ほか

(参加者数) 160名

④ 中国・香港からの誘致

ア 香港ブックフェア2024への出展

香港最大級イベントとして定着している香港ブックフェアへの出展をし、本県の観光PRを行い誘致を図った。

(開 催 日) 令和6年7月17日(水)～23日(火)

(場 所) 香港コンベンション&エキシビションセンター

(出展社数) 780 団体以上(36以上の国・地域より)

(来場者数) 99万人

イ 香港グレーターベイ(GBA)観光セミナーへの参加

11/16からの香港-徳島直行便就航に合わせ、香港グレーターベイ航空が主催する香港現地旅行社向けの徳島観光セミナーにてプレゼンし、徳島県観光情報をPR発信した。

(開 催 日) 令和6年11月11日(月)

(場 所) Cordis Hotel, HongKong, Mongkok

(現地参加者) 現地エージェント、旅行業協会ほか27社、計39名

ウ 香港徳島観光商談会・現地旅行会社セールスへの参加

徳島県主催の香港観光商談会・現地旅行会社セールスに参加し、徳島県最新観光情報を提供し、旅行社に徳島へ送客するよう誘致を図った。

(開 催 日)

商談会&交流会：令和7年1月16日(木)

現地旅行会社セールスコール：令和7年1月17日(金)

(場 所)

商談会&交流会：New World Millenium Hotel Hong Kong

現地旅行会社セールスコール：各現地旅行社事務所

(現地参加者)

商談会&交流会：香港旅行社28社

セールスコール：香港旅行社10社、深圳旅行社2社

## エ ツアー造成提案やお出迎え等受入支援

(ア) 中華圏からの遍路ツアーや各種テーマツアーの受入支援

- ・令和6年3月31日(日)～4月12日(金) 23名

中国(北京)からの遍路逆打ちツアー(3月に認定した林特使が引率)

- ・令和6年4月13日(土)～27日(土) 28名

台湾・香港からの遍路全周回りツアー

- ・令和6年10月9日(水)～14日(月) 15名

香港からの別格霊場ツアー

- ・令和6年10月20日(日)～11月3日(日) 24名

- ・令和6年11月5日(火)～19日(火) 28名

台湾・香港からの遍路全周回り逆打ちツアー

- ・令和6年11月10日(日)～22日(金) 25名

中国からの遍路逆打ちツアー(林特使が引率)

- ・令和6年11月24日(日)～12月1日(日) 25名

台湾・香港からの徳島徒歩遍路ツアー

- ・中国富裕層ゴルフツアー

食事場所の提案、お出迎え、記念品贈呈等の受入サポートをした。

①令和7年3月24日(月)～29日(土)(香港直行便利用)

②令和7年3月24日(月)～28日(金)(関空便利用)

53名 県内4ゴルフ場でのプレー、阿波おどり会館、ショッピング

(イ) 中国旅行社に提案し、ツアー商品の造成を図った。

- ・令和6年7月22日(月)～26日(金) 20名

行程:広島in - 愛媛 - 大歩危・祖谷(秘境の湯宿泊) - 琴平 - 岡山out

- ・令和6年8月18日(日)～22日(木) 13名

行程:岡山in - 香川 - 大歩危・祖谷(秘境の湯宿泊) - 愛媛 - 岡山out

## ⑤ 台湾からの誘致

ア 現地セミナー・個別相談会(JNTO主催)

訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会の四国ブースで台湾学校関係者と個別相談会を実施した。

(開催日・場所)

令和6年6月17日(月) 台北市(台北喜來登大飯店)

令和6年6月18日(火) 高雄市(高雄展覽館)

(全体参加人数)

【台湾側】(台北会場) 128名、(高雄会場) 127名

【日本側】33団体

#### イ 四国教育旅行説明会の実施

高級中等以下学校国際教育交流聯盟の協力を得て、四国単独教育旅行説明会を実施した。

- ・南部地域

(開催日) 令和6年6月19日(水) 14:00~16:00

(場 所) 高雄市立高雄女子高級中學(高雄市前金區五福三路122號)

- ・中部地域

(開催日) 令和6年6月21日(金) 14:00~16:00

(場 所) 國立彰化女子高級中學(彰化縣彰化市光復路62號)

- ・東部地域

(開催日) 令和6年6月24日(月) 10:00~12:00

(場 所) 國立花蓮女子高級中學(花蓮市菁華街2號)

- ・北部地域

(開催日) 令和6年6月25日(火) 14:00~16:00

(場 所) 新北市立中和高級中學(新北市中和區連城路460號)

#### ウ 日台教育旅行関係者交流会・関係者招請事業(JNTO主催)

日台教育旅行関係者意見交換会に参加するとともに、国内招請事業として台湾教育関係者を四国・徳島に招き、教育旅行に合致した観光資源、体験施設等を視察していただいた。また、訪日台湾教育旅行四国交流支援特使も交えた交流会を開催した。

- ・日台教育旅行関係者意見交換会

(開催日) 令和6年10月22日(火) 10:00~13:30

(場 所) 東京都(東武ホテルレバント東京)

(全体参加者)【台湾側】75名、【日本側】90名

(台湾教育旅行関係者四国招請)【台湾教育関係者】8名

#### エ 教育旅行受入れ実績

訪日台湾教育旅行誘致事業において学校長等に徳島県の教育旅行を紹介した結果、12校が訪れた。

#### オ 姉妹列車協定締結式参加及び台湾旅行会社等セールス

四国旅客鉄道株式会社が運行する観光列車「藍よしのがわトロッコ」と国営台湾鉄路株式会社が運行する観光列車「藍皮解憂號」の姉妹列車協定の締結式に参加するとともに、現地旅行会社等へのセールスを行った。

(実施日) 令和6年4月18日(木)、19日(金)

(商談・営業社数) 台湾旅行者 5社、航空会社 1社

#### カ JTB旅館ホテル連盟四国支部主催の台湾観光商談会及び台湾旅行会社セールス

JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部並びに四国ツーリズム創造機構、四国アライアンス(阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行)が連携し開催した商談会に参加するとともに、現地旅行会社等へのセールスを行った。

(実 施 日) 令和6年7月8日(月)～10日(水)  
 (商談・営業社数) JTB旅ホ連台湾商談会 5社  
 湾旅行社セールス 12社

⑥ その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、韓国・タイ・マレーシア等の東・東南アジアを主軸に、教育旅行やインセンティブ旅行の誘致に努めた。

・徳島県、高知県共催「Experience SHIKOKU」の開催

(開 催 日) 令和6年10月17日(木)～20日(日)

(場 所) シンガポール i12KATONG

(実 施 内 容) 物産や阿波おどり等とともに徳島県観光PRを行った。

## 施設等管理運営事業

### 1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

#### (1) 管理運営の実施状況

令和6年度は、アフターコロナの利用促進を目標に、コロナ禍により多目的ホールでのイベント開催を見合わせていた「リピーターである主催者」や、「新たに利用が期待できる主催者」等に対して積極的な営業活動を行い、多目的ホールの稼働率向上や催事利用の増加に努め、地域経済の活性化につなげた。

また、当協会のコンベンション部門と連携し、大規模大会・会議などを開催するキーパーソンや主催事務局等に営業活動を行ったほか、MICE商談会などに参加し誘致活動を展開した。

さらに、利用者サービスの向上策として、主催者・来場者等へのアンケート調査やイベント開催後に主催者などへの聞き取りによる意見・要望の把握、職員研修による接客対応等のスキルアップに努め、利用者サービスの向上を図った。

加えて、自主事業の開催による地域のにぎわい創出や、地元阿波おどり団体など出演団体等の活性化につなげるとともに、県や市町村・市町村観光協会と連携して観光情報などを発信する場を提供し、地域の観光振興事業をサポートした。

そのほか、「安全・安心・快適」な施設運営を基本コンセプトに、計画的な設備の修繕や更新を行い適正な施設の維持管理及び、災害時等の対応能力向上などに努めた。

#### ① 利用状況

| 内 訳            | 令和5年度       | 令和6年度       | 前年比    |
|----------------|-------------|-------------|--------|
| 多目的ホール・会議室     |             |             |        |
| 開館日数           | 356日        | 342日        | 96.1%  |
| 稼働日数           | 216日        | 213日        | 98.6%  |
| 稼働率            | 60.7%       | 62.3%       | 102.6% |
| 使用料金額(ホール・会議室) | 81,494,678円 | 78,488,508円 | 96.3%  |

| 内 訳  | 令和5年度       | 令和6年度       | 前年比    |
|------|-------------|-------------|--------|
| 駐車場  |             |             |        |
| 利用台数 | 147,601台    | 147,562台    | 100.0% |
| 利用金額 | 29,520,200円 | 29,512,400円 | 100.0% |

## ② 全国展示場連絡協議会への参加

昨年度に引き続き、全国展示場連絡会議へ参加し、施設の管理運営の効率化や施設への誘致活動等について情報交換を行った。

### ア 全国展示場連絡協議会総会

（開催日）令和6年5月16日（木）

（場 所）ホテルニューオータニ高岡（富山県）

### イ 全国展示場連絡協議会第30回実務担当者会議

（開催日）令和6年11月26日（火）、27日（水）

（場 所）幕張メッセ（千葉県）

### ウ 全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック総会

（開催日）令和6年12月5日（木）

（場 所）広島市中小企業会館（広島県）

## （2）県指定事業

### ① アスティおどりひろば

阿波おどり期間中の昼間対策として実施する「アスティおどりひろば」は、県内有名連による上演に加え、県内4大学の連が参加し、午前と午後の1日2回公演を行った。

なお、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表があったことから、「多目的ホールの入り口2ヶ所」に避難経路図を掲出するとともに、イベント開催前には「ホール内の大型映像装置」に避難経路図を映し、災害時の対応についてアナウンスを行った。

（開催日）令和6年8月12日（月・振休）～15日（木）

（入場者）延べ10,800名



## （3）自主事業

### ① アスティ阿波奏舞祭

県内4大学のダンスや和太鼓、吹奏楽団などの学生サークルに活動発表の場として提供しており、出演者及び来場者ともに人気を博している。

第5回目となる今回は、7サークル・128名が出演し、若さ溢れる演技が行われた。





なお、4大学の阿波おどり連は、同日開催された徳島県主催の「徳島おどりフェスタ」に出演したため、アスティ阿波奏舞祭には参加しなかった。

（開催日）令和6年12月1日（日）

（入場者）延べ500名<来場者372名、出演者128名>

## ② 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日を、可能な限り有名連の「はな・はる・フェスタ」や「夏本番の阿波おどり」、「徳島城阿波おどり」の練習場所として提供している。

これらの情報を市内の宿泊施設等に発信し、観光客に練習風景を観覧いただくことで、観光振興とにぎわいの創出に努めた。

|    |                          |      |
|----|--------------------------|------|
| 4月 | はな・はる・フェスタの練習            | 9日間  |
| 6月 | 夏の阿波おどりの練習               | 18日間 |
| 3月 | はな・はる・フェスタ及び、徳島城阿波おどりの練習 | 14日間 |

## ③ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も引き続き写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。

| 開催期間        | 展 示 内 容                    |
|-------------|----------------------------|
| 3/ 1～ 4/23  | 阿波市の魅力を届けようフォトコンテスト入賞作品展   |
| 4/27～ 5/31  | 四国の右下へ出かけよう！魅力発信展          |
| 6/ 1～ 6/30  | 「渦潮・大鳴門橋」紹介写真パネル展          |
| 7/ 1～ 7/31  | 「地下足袋王子写真展 なかの自然」          |
| 8/ 2～ 9/30  | みんな集まれ「南つるぎ」に ～奇跡のロストワールド～ |
| 10/ 1～10/31 | 「大歩危祖谷温泉郷 絶景ロマン癒しの湯」パネル展   |
| 11/ 2～11/28 | 「さなごうち今昔物語」パネル展            |
| 12/ 3～ 1/23 | 「徳島県南部の魅力発見！」写真展           |
| 1/28～ 2/27  | 「鳴門百景フォトコンテスト2024受賞作品展」    |
| 3/ 7～ 3/31  | 「わたしたちが伝える とくしまの魅力満展」      |

## ④ 大規模災害を想定した避難訓練イベントの開催事業

アスティ阿波奏舞祭開催中に、震度7の地震が発生し、大津波警報が発表され、津波の予想高最大8m、到達時間は約30分後と想定し、内階段及び外階段を利用し3階ラウンジへ避難する「避難訓練コンサート」を開催した。

開催にあたっては、県や市東消防署等の協力を得て、実際の避難訓練を来場者とともに体験するなど、より実践的な職員の訓練を行った。

（開催日）令和6年12月1日（日）

（入場者）延べ500名



⑤ eスポーツイベントの開催事業

eスポーツは、年齢や性別、ハンディキャップの有無を問わず、多くの人々が楽しむことの出来る次世代スポーツ競技である。

多目的ホールにおいて、「ぷよぷよ」、「グランツーリスモ」、「太鼓の達人」といった3種類のゲームで開催したところ、保護者及び参加者からは非常に好評だった。

なお、参加費は無料であるが事前申し込み制とし、粗品（わんわん防災セット）をプレゼントするなど防災意識の向上にも努めた。

（開催日）令和7年2月16日（日）

（入場者）39名



⑥ ドローンを活用したイベントの開催事業

小学4年生から中学3年生までを対象とした「ドローンプログラミング教室」を開催したところ、午前の部60名・午後の部50名の参加があった。

また、ドローンプログラミング教室と同時開催として、ハイスピードが迫力の「レース用ドローンのデモ」や音楽に合わせて踊るドローンの演出「インドアドローンショー」などを実施したところ、参加者からは非常に好評だった。

（開催日）令和6年5月5日（日）

（入場者）延べ110名



⑦ SDGs推進施策

徳島県が主催する「徳島SDGsパートナー」に登録し、コンベンション誘致による地域経済の活性化、災害用備蓄飲料水のローリング、ソーラーパネル設置による太陽光発電の活用、館内蛍光灯のLED電球への順次交換など、SDGs推進を念頭に置いた運営に取り組んだ。

（4）利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体や各種大会事務局等と商談するなど、コンベンション誘致を図った。

ア MICE EXPO in Kansai

（開催日）令和6年10月17日（木）、18日（金）

（場 所）インテックス大阪（大阪府）

イ 中四国地区合同コンベンション誘致懇談会

（開催日）令和6年12月4日（水）

（場 所）ベルサール三田ガーデン（東京都）

ウ 国際MICEエキスポ

(開催日) 令和7年2月13日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム(東京都)

② 主催者訪問事業

「アスティとくしま見学会」の参加者の中に、これまで単独で多目的ホール利用のなかった主催者も多く含まれており、見学会だけで終わることなく、直接主催者を訪問するなど、多目的ホールへの誘致活動に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的ホールの利用が回復していないリピーターや疎遠となっている主催者、周年記念を迎える企業等への営業活動を行うとともに、ホール利用終了後の主催者や下見来館時、打ち合わせ時の他、電話などによる営業活動等も積極的に行った。

(訪問件数) 29件

(誘致件数) 5件

(検討件数) 7件

③ 地元企業等のイベント誘致事業

多目的ホール等の利用促進を図るため、企業や団体等に対し、アスティとくしまを活用した周年記念事業や、お客様対象イベント等の開催依頼文を春と秋に2回送付した。

なお、アスティとくしまの「パンフレット」に加え、「多目的ホールの展開バージョン写真」や「使用料金のモデルプラン」も同封した。

(送付日・送付社数) 令和6年 5月13日(月) 162社

(送付日・送付社数) 令和6年10月24日(木) 159社

④ 他県で開催するイベント誘致事業

多目的ホール等の利用促進を図るため、月刊誌「MICE Japan」の「全国会場別MICEスケジュール」に掲載されているイベントで、全国展開が可能と見込まれるイベント主催者に対し、アスティとくしまでのイベント開催依頼文を送付した。

なお、アスティとくしまの「パンフレット」や「多目的ホールの展開バージョン写真」、「使用料金のモデルプラン」も同封した。

(送付日) 令和6年10月15日(火)

(送付社数) 10社

⑤ 会議室から多目的ホールへのイベント誘致事業

会議室を利用した主催者で、多目的ホールを利用する可能性があると思われる主催者に対し、アスティとくしまの「パンフレット」や「利用の手引き」のほか、「展開バージョン写真」や「モデルプラン」等も手渡し、多目的ホールでのイベント開催を依頼した。

(営業件数) 2件

⑥ 興行への支援助成金交付事業

有名アーティストやスポーツ選手等による興行は、県外からの参加者も多数あり、宿泊や飲食を伴うなど地域への経済効果が見込まれる。

このことから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者に対し、支援助成金を交付した。

（交付件数） 3件

（交付金額） 1, 170, 000円

（参加者数） 26, 679名（県外16,075名、県内10,604名）

⑦ イベント等開催支援助成金交付事業

新型コロナウイルス感染症等の影響により、一定の期間開催できなかったイベントや過去に実績があり近年利用がないイベント、新規利用の主催者によるイベント開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者等に対し、新たに各種の支援助成金制度を設けたが、いずれも利用までには至らなかった。

⑧ 巡視員（Security manager）配置事業

大規模イベント開催時には、まれに駐車できない車両があふれ交通渋滞や違法駐車が発生し、近隣施設等から苦情が寄せられることがある。

これまで、多目的ホールの主催者には警備員等の配置を依頼し混雑の解消を図ってきたものの、主催者による警備員配置にも限度がある。

このため、主催者側の警備員等が確実に配置されているか、また、効率よく警備が行われているかを確認しアドバイスやフォローを行うため、施設側で巡視員を配置し、交通渋滞の緩和やスムーズなイベント運営を図った。

（配置件数） 3件

⑨ FM放送局活用事業

「FM放送局」を活用し、自主事業や関連事業などの状況報告の他、多目的ホールで開催されるイベント情報や駐車場の混雑予想情報等を発信し、渋滞緩和や違法駐車などの抑制につなげるとともに、地域の活性化を図った。

（放送日時） 毎週水曜日 午前8時10分前後から

⑩ 「ASTY TIME」発刊事業

多目的ホールでの催し物や、今後の主なホールイベント・自主事業等の予定などを取りまとめた「ASTY TIME」を発刊した。

また、アスティとくしまのホームページやInstagram、X（旧ツイッター）等で情報発信することにより、地域経済の活性化と交流人口の拡大を図った。

（配布回数） 年4回（春・夏・秋・冬）



⑪ アスティンオフィシャルファンクラブ運営事業

アスティとくしまのマスコットキャラクターである「アスティン」のファンを通じた広報や利用促進を図るため、アスティンを応援いただける方なら、どなたでも参加できる「ファンクラブ」を令和5年度に設立した。

会員には、当協会主催イベントへの優先入場を可能とするほか、イベントボランティアとしての活動、ファンクラブ交流会などの開催等も検討しながらファンクラブ会員の増加を図った。

⑫ その他

利用者の更なる利便性向上を図るため、アスティHPから多目的ホールなどの空き状況の確認や、関係書類のダウンロードを簡易に行えるよう改良するなど、より利用者の目線に立ったサービスの提供に努めた。

(5) 館内設備の維持更新等

施設設備の維持管理については、日常的な運転監視や定期的な点検により故障や事故の未然防止に努めるとともに、設備等の修繕については、経年による劣化状況の把握から優先度を決定し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら、効率的かつ効果が最大限発揮できるよう実施した。

また、県が行う県有施設長寿命化計画に基づく「中長期保全計画」の策定に関して、指定管理者として全面的な協力を行った。

(6) 訓練・研修等の実施状況

非常時の対応能力向上について、アスティとくしまに入居する他の事業者などと共同で、「消防訓練」「津波避難誘導訓練」「救命講習」などを行い、危機対応能力の向上や連携の強化を図った。

また、当施設が徳島市の「津波避難ビル・緊急避難場所」等に指定されていることも踏まえ、非常時備蓄品の確保などに努めた。

さらに、接遇やリスクマネジメントに関する研修などを行い、職員のスキルアップやモチベーションの向上に努めた。

① 第1回消防訓練等

実施日：令和6年6月3日（月）

参加者：徳島県観光協会、舞台・音響・照明、防災センター、清掃、警備、ときわプラザ、みらい、こども室、テレコメディア 計34名

内 容：・徳島市東消防署員講師による、「通報訓練・消火栓を使用した初期消火訓練」  
・徳島県防災人材育成センター講師による、「地震・津波の防災対策などの講座」  
・大震災を想定した、「津波避難誘導訓練」「トイレ使用禁止措置の方法、簡易トイレの使用方法等確認」

② 第2回消防訓練等

実施日：令和6年12月12日（木）

参加者：徳島県観光協会、舞台・音響・照明、防災センター、清掃、警備、ときわプラザ、みらい、こども室、テレコメディア 計37名

内 容：徳島市東消防署員講師による、「トラッキング現象などの講義」「通報訓練（救急・火災）」「消火器を使用した初期消火訓練」「火災時の避難誘導訓練」

③ 普通救命講習

実施日：令和7年2月26日（水）

参加者：徳島県観光協会、舞台・音響・照明、防災センター、清掃、警備、ときわプラザ、みらい、こども室、テレコメディア 計41名

内 容：徳島市東消防署員講師による、「心肺蘇生法」「AEDの使用法」「異物除去・大出血時の止血法など」

④ 災害時の避難誘導體制

災害時に備え、多目的ホールの主催者に対しては「避難誘導及び消火活動体制届出書」の提出を依頼し、緊急時の責任者及び避難誘導等に従事できる方の氏名等を報告いただいている。

実際の避難誘導については、当日出勤している協会職員が主催者と連携して対応しなければならないため、多目的ホールを利用する全ての催事において、協会職員の役割も明確にした「災害時避難誘導體制シート」を事前に作成し周知している。

各人が自らの役割を事前に認識し、シミュレーションしておくことにより、発災時には主催者と連携して、迅速かつ的確な避難誘導に繋げるよう備えた。

⑤ コンプライアンス研修

実施日：令和6年9月25日（水）午前・午後2回実施

参加者：当協会職員

内 容：「現場とあなたを守る！社会人が知るべきコンプライアンス研修」動画視聴

⑥ 職員人権研修

実施日：令和7年1月22日（水）～2月12日（水）

参加者：当協会職員

内 容：各自がデジタルコンテンツ一覧から選択し視聴

⑦ 職場研修

職員のモチベーションやスキルアップなどを目的とするほか、新たなコミュニケーションの場として活用するため、日を分けて（ローテーション勤務のため）実施した。

4月：「リスクマネジメントシートの確認」「接遇研修（敬語の使い方）」

5月：「緊急対応マニュアルの確認」「接遇研修（接遇用語について）」

6月：「接遇研修」（話し方・聞き方について）

## ⑧ 感染症対策

厚生労働省や徳島県等の最新情報を参考にしながら、タイムリーな館内掲示等を通じて、手指消毒・手洗い、マスクの適切な着用、適切な換気などの基本的な感染予防策・呼びかけを実施するなど感染症対策に努めた。

また、主催者などの要望により、サーマルカメラ・非接触型体温計等の無料貸し出しを行った。

# 2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

## （1）管理運営の実施状況

令和6年度は、アスティとくしまと一体的な管理運営により、コロナ禍にイベント開催を見合わせていたリピーターや、新たに利用が期待できる主催者等に対して積極的な営業活動を行い、稼働率向上や催事開催の増加による交流人口の拡大や地域の活性化につなげた。

また、当協会のコンベンション部門と連携し、大規模大会・会議などを開催する主催者などに営業活動を行ったほか、MICE商談会などに参加し誘致活動を展開した。

さらに、利用者サービスの向上策として、主催者・来場者等へのアンケート調査やイベント開催後に主催者などへの聞き取りによる意見・要望の把握、職員研修による接客対応等のスキルアップに努めた。

加えて、「安全・安心・快適」を基本コンセプトに計画的な設備の修繕や更新を行い、適正な施設の維持管理及び、災害時等の対応能力向上に努めるなど、アスティとくしまを含めた一体的な管理運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホール・会議室等の利用率向上に努めた。

## （2）利用状況

| 内 訳            | 令和5年度      | 令和6年度      | 対前年比   |
|----------------|------------|------------|--------|
| ときわホール         |            |            |        |
| 開館日数           | 354日       | 353日       | 99.7%  |
| 稼働日数           | 116日       | 111日       | 95.7%  |
| 稼働率            | 32.8%      | 31.4%      | 95.7%  |
| 使用料金額(ホール・会議室) | 9,219,100円 | 9,691,550円 | 105.1% |
| 第5会議室          |            |            |        |
| 開館日数           | 354日       | 353日       | 99.7%  |
| 稼働日数           | 184日       | 179日       | 97.3%  |
| 稼働率            | 52.0%      | 50.7%      | 97.5%  |
| 第6会議室          |            |            |        |
| 開館日数           | 354日       | 353日       | 99.7%  |
| 稼働日数           | 129日       | 121日       | 93.8%  |
| 稼働率            | 36.4%      | 34.3%      | 94.2%  |



| 内 訳     | 令和5年度 | 令和6年度 | 対前年比   |
|---------|-------|-------|--------|
| 展示ギャラリー |       |       |        |
| 開館日数    | 354日  | 353日  | 99.7%  |
| 稼働日数    | 84日   | 176日  | 209.5% |
| 稼働率     | 23.7% | 49.9% | 210.5% |

### (3) 誘致活動状況

#### ① 主催者訪問事業

アスティとくしまでのイベントを見合わせていた主催者や、新規利用が見込まれる主催者等の事務所などを訪問し、営業活動を行う際に、併せてときわプラザの利用についても依頼した。

#### ② 地元企業等のイベント誘致事業

アスティとくしまの営業活動として、県内の企業等に対してイベント開催依頼文を送付する際に、ときわプラザの利用も併せて行った。

#### ③ 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、国際会議や全国大会等の誘致活動を行う際に、分科会等で数多くの会場を必要とする大会・会議等の場合は、ときわプラザとの併用利用の依頼を行った。

### (4) 事業実施状況

| 項 目              | 実施概要                                                          |
|------------------|---------------------------------------------------------------|
| 徳島新聞「映画と催し」欄への掲載 | 「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。                       |
| FM放送局の活用         | 「アスティとくしま」での催し物案内に加え、ときわプラザでの催し物の広報を実施し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。 |

## 3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

### (1) 管理運営の実施状況

渦の道・大鳴門橋架橋記念館の管理運営について、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、国内外の観光商談会などのプロモーション活動や旅行会社への営業活動を積極的に行うなど利用促進に努めた。また、徳島と香港、韓国を結ぶ国際定期便就航の効果もあり、増加する外国人観光客に対応するため、外国語対応ができるスタッフの雇用やAI翻訳機を活用した多言語対応を強化し、円滑な運営に努めた。さらに、フェイスブック、X、Instagram及びウェイボを活用したSNSでの情報発信を強化し、利用促進に繋げた。

加えて、施設の維持管理については、定期的な点検や計画的な修繕を行うとともに、県主管課とも情報共有を図りながら「安全・安心・快適」な運営に努めた。



## (2) 利用状況

| 内 訳  | 令和5年度        | 令和6年度        | 前年比    |
|------|--------------|--------------|--------|
| 渦の道  |              |              |        |
| 入館者数 | 541,746人     | 540,337人     | 99.7%  |
| 入館料  | 216,235,340円 | 216,823,490円 | 100.3% |
| エディ  |              |              |        |
| 入館者数 | 65,148人      | 72,773人      | 111.7% |
| 入館料  | 26,202,760円  | 29,422,690円  | 112.3% |

## (3) 渦の道・大鳴門橋架橋記念館の共通利用促進

### ① 旅行会社等への営業活動

鳴門地域の特性を活かしながら旅行会社等との連携を強化し、個人及び団体旅行者向けのプロモーションを積極的に展開した。観光商談会では、「大阪・関西万博」や「大鳴門橋自転車道」など新たな地域の魅力を発信し、誘客活動を実施した。



また、外国人観光客の受入体制強化に関しては、香港などで開催された観光商談会に参加し、多言語によるプロモーション活動を実施した。さらに、中国の深圳ではセールスコールを行うなど、積極的な誘致活動を行った。

### ② SNSでの多角的な情報発信

SNSを活用した情報発信の専門家にアドバイスを求め、効果的な情報発信に努めた。フェイスブック、X、インスタグラム、ウェイボなどを活用し、施設のイベントや鳴門公園等の情報を発信した。また、フェイスブックやインスタグラムから渦の道・エディの公式HPへの誘導を促し、利用者が必要な情報を手に入れやすいように配慮した。さらに、「渦の道」だけを目的に訪れる利用者を「エディ」にも誘導するよう努めた。

### ③ 観光施設・宿泊施設、サービスエリア等との連携強化

「くるくるなると」や新たに開設された「tonaru SETO」「大鳴マリーナ」との連携に加え、淡路島に新設された宿泊施設とも連携を深め、相互協力体制の強化を図った。また、大型連休や繁忙期の前に、主要な観光施設やサービスエリア等に対して、「渦の道」「エディ」のリーフレット、「鳴門公園うずうず散歩道」のチラシなどを配布し、情報発信に努めた。

## (4) 渦の道の利用促進

### ① サイクルツーリズムを活用した視察誘致推進

令和9年度に完成予定の「大鳴門橋自転車道」への関心の高まりを受け、従来の建設業界や地方自治体の視察団体に加え、近年ではサイクリストや自転車業界関係者の来場も増加している。こうした動向を踏まえ、サイクルツーリズムの視点を取り入れた誘致策を国内外の旅行業者に積極的に情報発信した。

今後は、この機運を活かして新たな利用層へのPRを強化し、来場者からの質問や要望に正確かつ丁寧に対応することで、満足度の向上とリピーターの獲得に努める。

## ② 地元観光関係団体等との連携

四国ツーリズム創造機構が主催する東京・大阪での観光商談会に参加し誘致促進に努めた。商談会の前後には旅行会社を訪問し、送客の依頼や情報交換を行うなど、様々なニーズ等を把握することで個人・団体旅行などに向けた利用サービスの向上に努めた。



## ③ 観光イベントの実施

サステナブルなイベントとして、年始には「初日の出in渦の道」を開催し、展望室でのホットドリンクの提供、カイロの配布、誘導灯の設置など来場者サービスの充実を図り、初日の出イベントに285名が来場した。

また、3月には、国立公園という立地や「日本百名月」登録地としてのブランド力を活かし、「海上ナイトウォーク2025」を開催し、2日間で118名が来場した。



# (5) 大鳴門橋架橋記念館の利用促進

## ① 地元観光協会との連携

3階多目的スペースにおいて、東かがわ市観光協会・鳴門市うずしお観光協会共催の「東かがわ市&鳴門市フォトコンテスト作品展」を行った。

(展示期間：令和6年10月2日(水)～28日(月))

また、鳴門市うずしお観光協会主催の「春の渦まつり」と連動したイベントとして、エディに桜をモチーフとした特別フォトスポットを設置した。

(設置期間：令和7年3月1日(土)～31日(月))

## ② 外国人観光客の受入体制強化

館内全ての展示物に英語と繁体字の翻訳を掲示することで、外国人観光客への案内を充実させた。また、窓口案内用に外国人向けコミュニケーションボードを作成し、スムーズな案内を図った。

## ③ 様々なイベント実施

SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」をテーマに、クイズ形式のイベントを開催し、子どもから大人まで幅広い年齢層に参加いただき、楽しみながら学ぶ機会を提供した。

また、県内の高等学校と連携し、地元の生徒が県内のおすすめ観光地や特産品について紹介した作品を展示した。作品には、各観光地等の情報がQRコードで表示される仕組みを取り入れ、生徒たちが学校で学んだQRコードの技術を活用することで、学習要素も盛り込まれた内容となった。